

航 空 自 衛 隊 仕 様 書			
仕様書の 種 類	内容による分類	装 備 品 等 仕 様 書	
	性質による分類	個 別 仕 様 書	
物品番号			仕 様 書 番 号
品 名 又は 件 名	救助衣用防護靴，改		C & L P S - D 8 4 4 6 9 - 6
			大臣 承認 平成 年 月 日
			作成 平成 1 7 年 9 月 1 6 日
			改正 令和 3 年 1 0 月 5 日
			令和 8 年 4 月 2 0 日
	作成部 隊等名		補 給 本 部

1 総則

1.1 適用範囲

この仕様書は，消防隊員が救難消防活動時に身体を火傷から防護するために着用する“救助衣用防護靴，改”について規定する。

1.2 用語及び定義

この仕様書で用いる主な用語及び定義は，C & L P S - Y 0 0 0 0 7 の 1.2 による。

1.3 種類・構成

種類は，表 1 によるものとし，調達する種類，数量等は調達要領指定書で指定する。

表 1－種類

種 類	物品番号
2 3	8 4 3 0 - 4 2 8 - 3 0 8 1 - 5
2 4	8 4 3 0 - 4 2 8 - 3 0 8 2 - 5
2 5	8 4 3 0 - 4 2 7 - 2 8 7 3 - 5
2 6	8 4 3 0 - 4 2 7 - 2 8 7 4 - 5
2 7	8 4 3 0 - 4 2 7 - 2 8 7 5 - 5
2 8	8 4 3 0 - 4 2 7 - 2 8 7 6 - 5
2 9	8 4 3 0 - 4 2 7 - 2 8 7 7 - 5
特別	調達要領指定書による。

1.4 製品の呼び方

製品の呼び方は，仕様書の名称及び種類による。

例 救助衣用防護靴，改 2 5

1.5 引用文書

この仕様書に引用する次の文書は，この仕様書に規定する範囲内において，この仕様書の一部をなすものであり，入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

なお，引用文書に定める内容が，この仕様書に定める内容と相違する場合は，この仕様書に定める内容が優先する。

品 名	救助衣用防護靴，改
-----	-----------

a) 規格

J I S	G	4 4 0 1	炭素工具鋼鋼材
J I S	K	6 2 5 1	加硫ゴム及び熱可塑性ゴム－引張特性の求め方
J I S	K	6 2 5 3	加硫ゴム及び熱可塑性ゴム－硬さの求め方
J I S	K	6 4 0 4－3	ゴム引布・プラスチック引布試験方法－第3部：物理試験（応用）
J I S	T	8 1 0 1	安全靴
J I S	T	8 1 0 7	安全靴・作業靴の試験方法
N D S	Z	0 0 0 1	包装の総則
N D S	Z	8 0 1 1	角形銘板

b) 仕様書

C & L P S－Y 0 0 0 0 7	調達品等一般共通仕様書
-----------------------	-------------

2 製品に関する要求

2.1 材料

材料は，付表 1 による。

2.2 構造・形状・寸法

2.2.1 構造

構造は，次による。

- a) 構造は，付図 1 を基準とし，胴，甲部，底及びヒール部には耐熱性ゴムを使用し，表面には耐熱性銀色塗装を施すものとする。
- b) 胴，甲部及び底の内側には断熱層を設け，落下物による損傷をふせぐため，爪先部分を金属製プロテクターで補強する。
- c) 裏面には綿メリヤスをはり付け，各部のゴムはり合わせは完全にする。
- d) 靴底には，踏み抜き防止板を中底と遮熱材の間に入れるものとする。踏み抜き防止板の材料は，鋼鉄製又は同等の耐熱及び強度を有するものとし，耐踏み抜き性は，J I S T 8 1 0 1 の 1 100 N 以上とする。

2.3 形状・寸法

形状及び寸法は，付図 1 によるほか，細部は承認見本による。

2.4 性能

性能は，表 2 による。

表 2－性能

項 目	規 格	試験方法
耐圧迫性	圧迫荷重 4 410N で中底と先しんとのすきま 15 mm 以上	J I S T 8 1 0 7 による。
耐衝撃性	鋼製重錘の質量 23 kg，落下高さ 300 mm で中底と先しんとのすきま 15 mm 以上	J I S T 8 1 0 7 による。

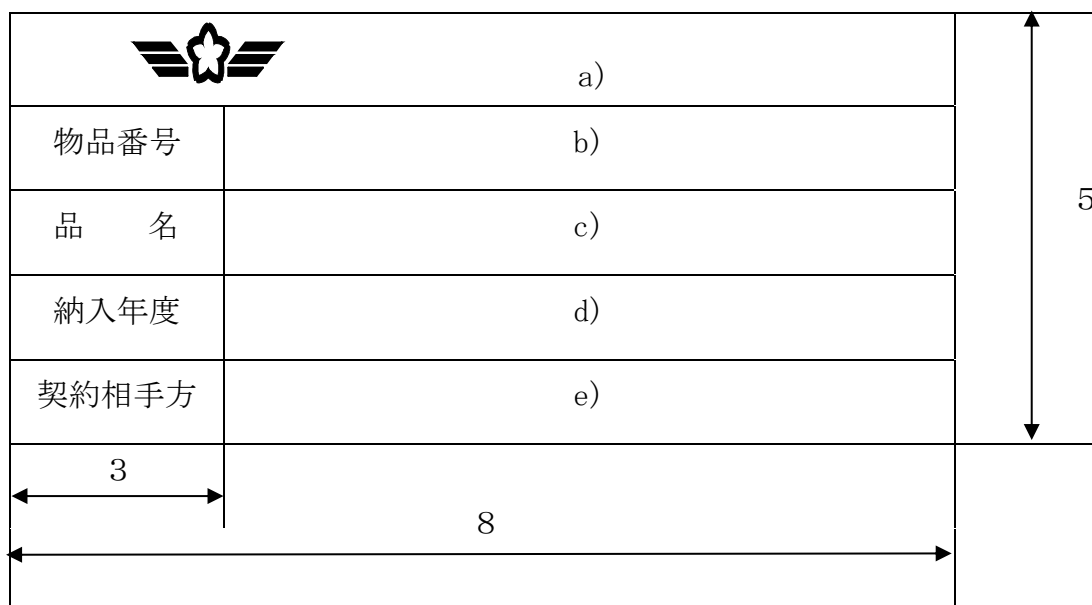
品 名	救助衣用防護靴，改
-----	-----------

2.5 製品の表示

製品の表示は、図 1 に示す銘板を筒状部内側にはり付けるものとする。

なお、表示の用字及び書体は、NDS Z 8011 によるものとし、黒色でにじみ及び退色しにくいものを用いて、鮮明に押印又は記入する。

単位 c m



注記 寸法は、基準を示す。

注^{a)} 要求元の指示に基づき記入する。

注^{b)} 該当する物品番号を記入する。

注^{c)} 該当する品名（製品の呼び方）を記入する。

注^{d)} 納入年度を記入する。

例 2019年度

注^{e)} 契約の相手方の名称又はその略号を記入する。

図 1－銘板

3 品質保証

3.1 製品試験

製品試験は、表 2 及び付表 2 の試験方法に基づき実施する。

3.2 監督・検査

契約担当官等の定める監督及び検査実施要領によるものとする。

4 出荷条件

4.1 包装

包装は、商慣習による。

4.2 外装の表示

外装の表示及び標識は、NDS Z 0001 による。ただし、外装の表示内容は次のとおりとする。

a) 内容品表示の表示位置は 2 面及び 4 面とし、記載内容は次による。

- 1) 調達要求番号
- 2) 物品番号
- 3) 品名（製品の呼び方）

品 名	救助衣用防護靴，改
-----	-----------

4) 数量

5) 納入年月

例 2019年2月

6) 契約の相手方の名称又はその略号

5 その他の指示事項

5.1 提出書類

契約の相手方は，C&LPS-Y00007の4.1.1に基づき，類別原資料を提出する。

5.2 承認用見本

契約の相手方は，C&LPS-Y00007の4.3により製作に先立ち承認用見本として製品1PRを契約担当官等に提出し，外観及び形状について承認を受けるものとする。

品 名	救助衣用防護靴，改
-----	-----------

付表１－材料

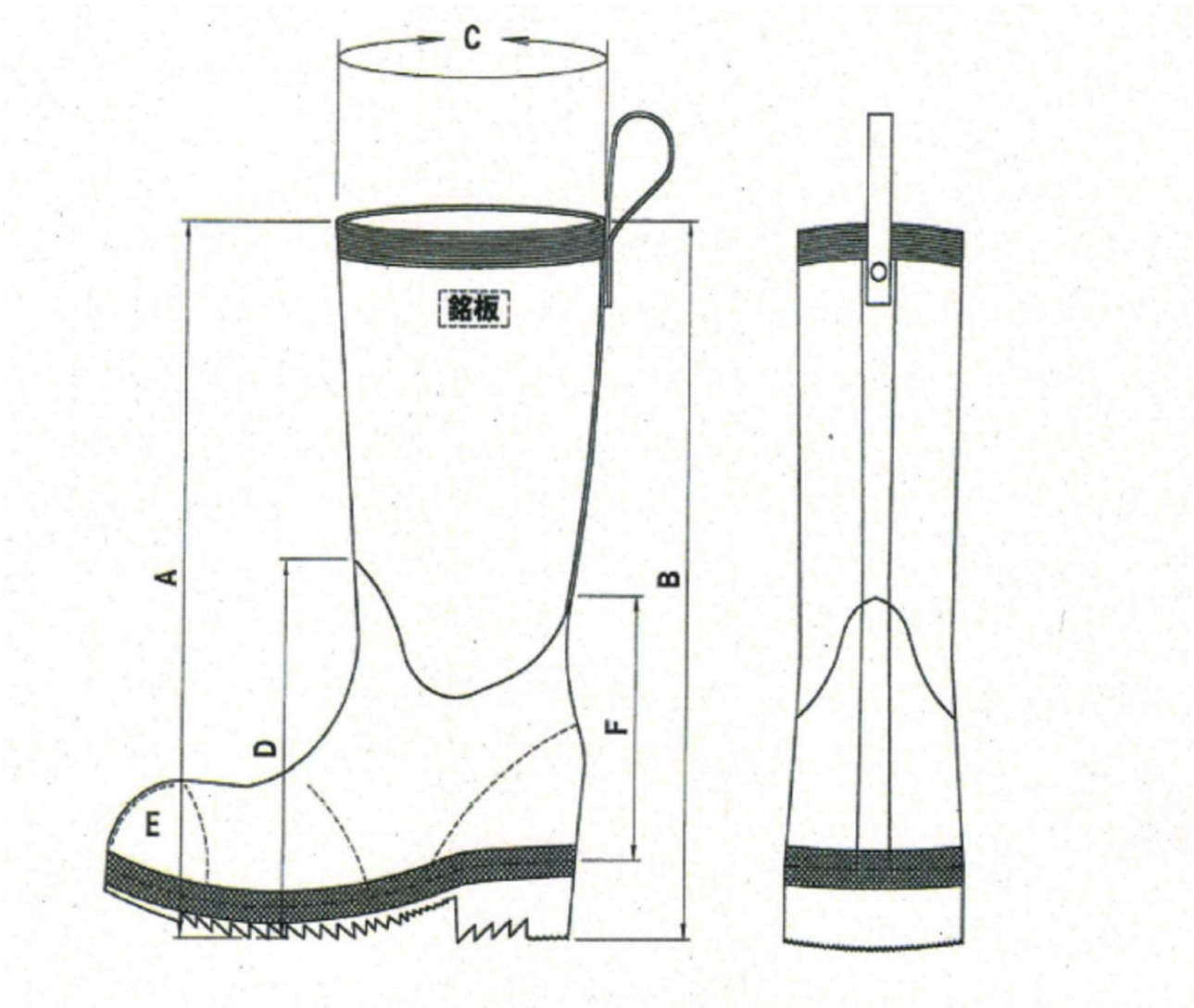
区 分	規 定
胴 甲	付表２による。
中しん	
本 底	
かかと	
とっ手	
裏地	メリヤス 綿３０ｓ
中間材	断熱用スポンジ 厚さ 2.8 mm 以上 天然ゴム及び合成ゴム（ＳＲＢ）を発砲させたもの。
つま先	鋼板ＪＩＳ Ｇ ４４０１のＳＫ６５又は同等以上のもの。
中 底	耐炎化繊維クロス 厚さ 1.6 mm
踏み抜き防止板	鋼鉄製又は同等のもの。ＪＩＳ Ｔ ８１０１の耐踏み抜き性 1 100N 以上
かしめ	ニッケル製
アルミニウムペイント	反射率 1 5 % 以上
綿テープ	平織，幅 2 cm メリヤス接合部
銘 板	綿布 ほつれ止め加工

付表２－クロロプレングム

区 分		規 定	試験方法
硬 さ	H s	5 0 以上	ＪＩＳ Ｋ 6 2 5 3 による。
引張試験	引張り強さ MPa	1 0 . 7 8 以上	ＪＩＳ Ｋ 6 2 5 1 による。
	伸び率 %	5 5 0 以上	
耐寒試験		- 2 0 ± 1 °C	ＪＩＳ Ｋ 6 4 0 4 - 3 に準 じる。
耐熱試験		1 3 0 ± 1 °C	

品 名	救助衣用防護靴，改
-----	-----------

単位mm



種 類	前部 A	後部 B	内円回り C	甲部 D	つま先鋼板 (内部) E	かかと部 F	許容値 (%)
2 9 c m	3 6 0	3 5 0	4 5 0	1 6 5	7 3	1 1 5	注 ^{a)} ± 5 . 0
2 8 c m	3 6 0	3 5 0	4 4 0				
2 7 c m	3 6 0	3 5 0	4 3 5				
2 6 c m	3 6 0	3 5 0	4 1 0				
2 5 c m	3 6 0	3 5 0	4 0 5			1 0 5	
2 4 c m	3 6 0	3 5 0	4 0 0				
2 3 c m	3 6 0	3 5 0	3 7 5				

注^{a)} 甲部D及びかかと部Fの許容値については、±10.0とする。

付図－1 形状及び寸法